

## 令和5年度第2回金沢市食品ロス削減推進協議会議事要旨

- ◇日時 令和5年11月22日(水) 10:00～11:30
- ◇場所 第二本庁舎2階 2202会議室
- ◇出席者 (順不同、敬称略)
- |       |        |                             |
|-------|--------|-----------------------------|
| 会長    | 池本 良子  | (金沢大学名誉教授)                  |
| 副会長   | 田中 弘美  | (北陸学院大学健康科学部教授)             |
|       | 今井 喜久子 | (市民公募)                      |
|       | 上田 久美子 | (金沢市校下婦人会連絡協議会副会長)          |
|       | 鍛冶 一雄  | (石川県スーパーマーケット連絡協議会代表幹事)     |
|       | 楠部 孝誠  | (NPO法人いしかわフードバンク・ネット理事)     |
|       | 志賀 嘉子  | (一般社団法人石川県食品協会)             |
|       | 橘 宏和   | (市民公募)                      |
|       | 鍋島 盛雄  | (石川県飲食業生活衛生同業組合理事長)         |
|       | 西田 哲次  | (金沢商工会議所常務理事)               |
|       | 林 貴江   | (石川県生活学校連絡会)                |
|       | 松坂 範子  | (環境にやさしい買い物推進協議会)           |
|       | 宮野 義隆  | (石川県農業法人協会会長理事)             |
| (欠席者) | 杉山 朋美  | (北陸大学薬学部准教授)                |
|       | 中村 明仁  | (金沢市旅館ホテル協同組合)              |
| 事務局   | 加藤 弘行  | (金沢市環境局長)                   |
|       | 永井 俊宏  | (金沢市環境局環境政策課長)              |
|       | 三傳 敏一  | (金沢市環境局環境政策課ゼロカーボンシティ推進室長)  |
|       | 宗藤 雅美  | (金沢市環境局環境政策課課長補佐)           |
|       | 加藤 萌子  | (金沢市環境局環境政策課ゼロカーボンシティ推進室主任) |
|       | 坂本 和奏  | (金沢市環境局環境政策課ゼロカーボンシティ推進室主事) |

- ◇会議次第
1. 開会
  2. 議事
    - (1) 第7回食品ロス削減全国大会 in 金沢 結果報告
    - (2) 令和6年度食品ロス削減推進事業計画(案)
  3. 閉会

<p>加藤局長</p>	<p><b>【1. 開会】</b>  &lt;局長あいさつ&gt;  本日はお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。また、日頃から様々にご指導、ご助言をいただき重ねて感謝申し上げます。  紅葉も見頃となり、寒い日が続くが、お体ご自愛いただきたい。  さて、10月30日に開催した食品ロス削減全国大会では、市内外から大変多くの方に参加いただいた。池本会長、宮野委員におかれては、トークセッションにご登壇いただき、貴重なお話をいただき、感謝申し上げます。その他の委員の皆様方にも、パネル・ブース展示への出展、本大会の周知等様々にご協力いただき、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。  大会では、本市の豊かな食文化を発信すると共に、食品ロス削減への意識づけ、機運の醸成に貢献できたことと思う。こうしたことも、これまで食品ロス削減に向けて委員の皆様を始めとした多くの方々が、それぞれの立場で努力をされてこられたことの結実の一つである。  今後も引き続き、市民の皆様、事業者の方々と共に、積極的に取り組んでいかなければならないという思いを強くした。本日は、この大会の結果について、事務局からご報告させていただく。また、来年度の推進計画の概要等についてもお示しする。どうか忌憚のないご意見を賜りたい。よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>事務局 会長 委員</p>	<p><b>【2. 議事】</b>  (1) 第7回食品ロス削減全国大会 in 金沢 結果報告  (資料1をもとに説明)</p> <p>月曜日開催ということで、前回の協議会でもどのように参加者を集めるのかと話題になったが、事務局が大変努力をし、結果的には600人集まったとのことで、結構広い会場であったが、座席が埋まっており、私も大変驚いた。</p> <p>私も参加させていただき、皆さんの前でお話するというので、ここにどういう方が来られて、これを聞き、どの様に変化をしていくのかということイメージして行った。それはやはり目的にあるように、一般の消費者の方に対して機運醸成をするということである。  その中でお話をさせていただき、後日参加者の方とたまたまお会いする機会があり、トークセッションは全体的にもっとお話を聞きたかったという声を直接受けた。  大会参加者の中で、一般の方がどれぐらいの割合おられたかを把握されていれば、教えていただきたい。また、せっかくこのような大きなイベントで、大変な苦労の中運営されたので、その検証に値するアンケートがどのくらい集まっているかを合わせて教えていただきたい。</p> <p>事務局 参加者600名のうち一般申込者が204名、学校を含む団体申込者が269名、合わせて473名が一般の参加者であり、アンケート送付対象者である。</p>

		アンケートは昨日の時点で、68 件集まっている。
会	長	それ以外は行政の方ということか。
事	務	行政関係者、来賓、招待者である。
会	長	アンケートは集計中とのことだが、集計が完了したら皆様にフィードバックをかけてほしい。
事	務	承知した。
委	員	<p>当日、参加させていただき本当に大変貴重なお話を聞かせていただいた。全体的にまとまりがあって、とても素晴らしい内容であった。オープニングからいろいろ考えられてきたと思うが、本当によかったと思う。パネル・ブース展示に関しては、場所的にもスペース的にも良かったと思う。</p> <p>北陸学院大学の学生を、授業と絡めて 45 名程度参加させた。アンケートは学生にも送られているのか。私のアドレスにはアンケート依頼のものが届いているが、学生へのアンケートはどのように集めれば良いかと思っている。</p> <p>学生に感想を聞いたところ、食物学を専攻している学生であっても、消費期限や賞味期限については知っているが、家庭系と事業系の食品ロスが半分ずつであることは知らなかったようで、驚いていた。3010 運動もあまり知らない学生が多く、一番印象に残ったのが、「てまえどり」であるとのことだった。また、環境省や消費者庁の展示ブースがすごく分かりやすかったとのこと、今度から、自分も意識しないと駄目だと感じたようである。</p> <p>若い学生にとっては、大学の講義で話を聞くのと、このようなイベントに参加し、様々な職種の方の話を直に聞くのでは、全く違うのだと感じた。このようなイベントには積極的に参加させたいと思った。YouTube の配信もされているようなので、参加できなかった学生にも見せ、レポートを書かせることもできるため、参加させやすいと感じた。</p>
事	務	<p>団体申込みをされた方のアンケートについてだが、事務局では代表者のアドレスしか把握していないため、代表者のみに送付し、参加された方々へのアンケート協力をお願いしている。参加された学生の皆様にもメールを転送いただくなど、多くの方に回答いただけるようお知らせいただければと思う。</p>
委	員	自分でオンラインのアンケートフォームを作って学生の意見を集めるべきかと思っていた。
事	務	大変ありがたい話である。どのような形でも構わないので是非ご協力いただきたい。

委員	<p>全国大会当日は、開会から閉会まで参加させていただいた。大変大きな大会であったので、企画の段階から含めて事務局の方は相当ご苦労されたと思う。</p> <p>トークセッションも拝見したが、池本会長が手腕を発揮され、スムーズに進行されていた。また、宮野委員の農業に対する思いや考えを聞かせてもらい、大変有意義であった。パネル・ブース展示では、学校関係の方が多く出展されており、消費者教育の一環としての取組みも拝見でき、非常に勉強になった。</p> <p>当日は多くのお客様がいらっしゃったが、前方の席をご用意いただき、馬場さんの料理の良い香りにはお腹が空いて、参ってしまった。</p> <p>非常に有意義な大会であったと思う。感謝申し上げます。</p>
委員	<p>宮野委員のお話は非常に学生に影響を与えたようで、畑で捨てられる野菜があったということにも驚いていたし、それを一般の方に向けて活用したということが、思ってもなかなか実行できないことであり、素晴らしい取組みであると思った。</p> <p>学生は展示ブースなどでアンケートに答えたら、賞味期限の迫った缶クッキーをもらえたり、自分でできる取組みを紅葉の形のカードに書くなど参加、体験型のものもあり、非常に良かった。</p>
委員	<p>私がすごく印象に残ったのは、食品ロス削減推進表彰の表彰式の時間が大変長くってあるので、最初はどんなものだろうと思っていたが、受賞された方々のスピーチが大変良かった。「てまえどり」という言葉を作った方など、やはり一生懸命企業の方も頑張っているのに、消費者にはあまり見えていないため、それを知ることでできる良い機会になったと思う。</p> <p>トークセッションは、宮野委員のお話はもちろんのこと、中里さんのお話が大変印象に残った。技術を磨けば食品ロスを無くせるとのことで、料理教室などの開催により、食材をすべて使い尽くす技術をプロから学ぶ機会があれば面白いのではと思った。トークショーでの馬場さんのレシピは早速作ってみた。スライサーの使い方アイデアはとても良かったと思う。展示ブースに関しては、計画の段階では別棟であったが、休憩時間に見る時間がとってあり、ホールから近いということが大変良かった。</p> <p>色々とお世話になったが、金額は予算内に収まったのかというのがちょっと気になるところである。</p>
事務局	<p>経費についてお話があったが、行政としてはどのような効果が得られるかを重んじており、こうしたイベントを通して、皆さんに知っていただき、それが食品ロスの削減やごみの削減に繋がると考えている。それにより、例えばエネルギーセンターの規模縮小や埋立場の負荷軽減に繋がりと、それは将来的に我々に返ってくることであり、将来を見込んで投資する、予算をつけるのが行政の役割だと考えている。</p>

委員	<p>開催後のフォローアップについて、私たち飲食店を経営している方も同じだが、この大会に参加され、アンケートを出される方は大事な顧客であり、その方々から輪を広げていくことが重要である。私たちは飲食店でお客様が来られて、顧客になっていただき、顧客を通じて新たなお客様に来ていただく。</p> <p>その様に広げていくことが出来るので、是非このアンケートを出された方を基準にさせていただき、もっとその周りの方をどんどん増やしていけるような形を取ることができれば面白いと思う。</p>
事務局	<p>アンケートは、今後の市の取組みの参考とすることやその成果の検証のために実施しているが、ご指摘の通り、今回参加された方から輪を広げるということは非常に大事であり、こういった形でできるかについては今後考えていきたいと思う。この大会以外でもこれまで様々なイベント等を実施しており、今後も各イベントの参加者に対し、取り組みが広がるような働きかけをしていきたい。</p>
委員	<p>食品ロス削減推進表彰の受賞者の事例発表が凄く素敵だと思った。食品ロスの問題は、一企業で対応できる次元ではないということをおっしゃっていて、自分たちが作った仕組みに他の企業の方も呼び込み、子ども食堂に食品を配布する仕組みを作るなど、全体を巻き込んだ仕組みづくりをされ、表彰されていたのがすごく印象的であった。さすがの表彰理由だと思い、私も頑張りたいと思った。</p>
委員	<p>トークセッションの内容とロバート馬場さんのクイズの内容が重複していた点は残念であった。ただ、その状況の中で馬場さんと住みます芸人の方がうまくトークをされ、会場がバラエティーに包まれて、さすがだと思った。</p> <p>また、YouTube のアーカイブ動画について、もう少し見る方に親切にできれば良いと思う。この動画は3時間40分間あり、大変長いため、見たい部分だけ見ることができるよう、プログラムごとにチャプター分けするなどしてはどうか。</p>
事務局	<p>チャプター分けができるかどうかに関しては、委託事業者を確認する。動画の紹介ページ内に、各プログラムの開始終了時間を記載することはできると思うので、対応したい。</p>
会長	<p>トークセッションに関して、初めに金沢市から話があった際は、食品ロス削減と金沢の食文化を絡めるというのは難しいと感じたが、事前打ち合わせを重ねる中で徐々に私の中でもまとまって来た。知らないことも多くあり、参加者の皆さんも納得されたことと思う。</p> <p>毎年全国で開催されている大会であるので、同じことをしてもつまらない。ご指摘があったように、話の内容が重複する部分はあったが、繰り返</p>

<p>事務局</p>	<p>し聞くことも重要である。</p> <p>すごく金沢らしい全国大会になったのではないかと皆さんから言われて良かった。このような大会を毎年全国でやっているということで、私も去年行けばよかったと思った。今後、毎年全国で開催される大会の周知を金沢の中で広報するなど、将来的にその参加団体向けに助成金を交付するなどができれば良いと思う。</p> <p>2日目の研修会に関しては、行政関係者のみを対象としていたが、行ってみたいと思った。このようなイベントをまた企画されたら、たくさん人が集まる気がする。特に金沢総合市場における取組みについては、意外と知らない世界で、今回中里さんのお話にもあったが、資源管理や未利用魚の活用については、SDGsの課題の中でも意外と知られておらず、意識されていない部分であると思うので、もう少しアピールしても良いのではないかと感じた。</p> <p>全国大会は毎年場所を変えて実施しているため、アナウンスはできる。今回自治体だけが対象となった視察については、この後報告する来年度事業にも関わるが、今会長がおっしゃった通り、市民向けに開催できないかについて事務局で検討していきたいと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>(2) 令和6年度食品ロス削減推進事業計画(案) (資料2をもとに説明)</p> <p>来年度は推進店事業の改変に伴い、チラシを改訂するのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>取組み項目の追加に伴い改訂予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>推進店向けのステッカーは見たことがあるが、メニューに貼りつけるシールはあまり見たことがない。どのように活用されているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>取組みシールは、「ご飯の量を減らせます」などのサービス内容が書かれたものであるが、現状あまり多くの推進店において使用されていない。そのため、今後推進店に聞き取りなどしながら、多くの推進店で活用いただけるようなものを新たに作成したいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>取組みシールだけでは、この店舗が何をしている店舗であるかが分かりにくいと感じる。今、説明を聞いて小盛対応や苦手な食材を除いてもらえる店舗だと分かったが、市民に伝わりにくいと感じる。大きいステッカーと取組みシールを組み合わせて上手く活用し、推進すべきである。</p>
<p>事務局</p>	<p>来年度、事業の見直しをかけていく中で、分かりやすい表記をしっかりと考え、この店舗は何を推進しているのか、どのようなサービスがあるか等が見て分かるように、或いは利用者の要望に店舗スタッフが答えてくれる</p>

		<p>ような仕組みをしっかりと作るため、事務局で検討していきたい。</p>	
会	長	<p>推進店の中にホテルも含まれると思うが、ホテルではどのような場所にステッカーを貼っているのか。最近ホテルでパーティーがあり、どうしても食べきれないものがあって持ち帰りたいたったが、言い出しにくいと感じた。ホテルでは伝えづらい雰囲気があるので、ホテルの宴会場などに貼ってあると良いと感じる。</p>	
委	員	<p>ステッカーだけではなく、バナーやテーブル等に置く POP なども良いと思う。</p> <p>また、フードドライブ事業の推進に関し、受付窓口開設団体向け啓発講座とは、どのような方を対象としているのか。その方が何に困りこの講座を受けるのかについて説明いただきたい。</p>	
事	務	局	<p>この講座は、新規に受付窓口を開設する団体向けに実施したいと考えている。地域フードドライブは現在、公民館、社会福祉協議会、婦人会、学校関係では、高校、中学、小学校の育友会等に協力いただき実施しており、新規に窓口を開設する団体に対しては、その受付方法や、報告書の作成方法等を事前に説明する必要がある。また、事前に食品ロスに関する知識や集まった食品がどのように活用されているかについて知っていただく機会を提供するために、このような講座を実施したいと考えている。</p>
委	員	<p>学校や育友会がこの窓口をやるということは、そこが対象者と事業者を繋ぐ役割をするということか。</p>	
事	務	局	<p>窓口設置団体には、学校などで食品を集めていただき、それをいしかわフードバンク・ネットさんに持って行っていただいている。</p>
委	員	<p>家庭から出てくる食品を受け取っているということか。</p>	
委	員	<p>婦人会では、定例会の際に会員から集め、保健所等市が開設する窓口を持って行っている。窓口まで届けられない高齢者もいるため、定例会を利用して集めている。</p> <p>地域フードドライブ窓口を開設する際には、食品を品目ごとに分けて重量を測り、報告書を作成するなど、市の決めたルールに従い実施する必要がある、事前に説明を聞く必要がある。</p>	
事	務	局	<p>ここで一点お断りさせていただく。本日お示ししている事業計画案は、委員の皆様からのご意見を踏まえた上で、来年度できることをこれから予算化していくものであり、決まったものではない。</p> <p>本日ご了承いただければ、今後、制度設計を行い、関係部局との調整や更なる検討を行うなど段階を踏んで決定していくこととなることをお断りしておきたい。</p>

会	長	これは、フードドライブを新たに開設することを検討している団体に対する支援か。	
事	務	局	その通りである。
会	長	この講座を受けないとフードドライブの窓口を開設してはいけないということにすると、ハードルが高くなる。今からしたいと思う団体向けに講座を開き、それを聞き、やってみようという風になっていただくのが良いと思う。	
事	務	局	講座の受講を強制するものではなく、支援の一つとして考えている。
委	員	窓口の開設は、結構手間がかかるので、事前に話を聞いてできるかどうかを判断していただくのが良いと思う。最初は私たちも、重さを測り報告することにどのような意味があるのかと思っていたが、年間どれだけの量の食品が集まったか実績を出す必要があるとのことで、納得した。	
会	長	ルールとその意義を一緒に伝えていく必要がある。また、フードドライブがどれだけ役立っているかということを知ってもらう必要がある。	
委	員	窓口開設が難しい場合は、市の窓口等に持って行くよう案内するだけでも良いと思う。自分でできない場合は、誰かに頼んで持って行ってもらうなど。 初めは市の窓口も少なく、大変だったが、今の4箇所となり便利になった。元町福祉健康センターが自宅から近いが、受付時間が限られている。	
会	長	受付は福祉健康センターの職員が行っているのか。	
委	員	受付は、NPO 法人いしかわフードバンク・ネットの方が行っていて、その方が在席している間のみ受付可能となっている。そのようなことも説明を聞かないと分からない。	
委	員	補足となるが、どのような食品でも受け取れる訳ではないため、受付は有人としている。量の管理については、市の実績もそうであるが、いしかわフードバンク・ネットとしての在庫管理や、倉庫の容量にも制限があるため、把握しておきたいという事情がある。	
委	員	そもそもフードドライブに持ち込まれる食品がどこから来て、なぜ余ったのかの調査が必要ではないか。ギフトや頂き物が多いと想像するが、その調査により、食品ロスが発生する根本原因を知ることができると思う。	
事	務	局	フードドライブの全ての受付窓口で調査をするのは難しいが、市役所第

	<p>二本庁舎では、当課職員が受付しているため、毎度とはいかないが、寄付して下さる方に簡単な聞き取り調査をすることは可能である。非常に貴重なご意見に感謝申し上げます。</p>
委員	<p>簡単な二次元コードのアンケートフォームがあっても良いと思う。</p>
委員	<p>同様の趣旨のアンケートを取ったことがあるが、買いすぎ、貰いすぎが食品ロスの主な原因である。買ったけど口に合わなかった場合や使い切れない場合、また、作りすぎた野菜などもある。捨てられる食品の中では、調味料が一番多いが、未使用の状態のものは少なく、フードドライブに持って行くことができない。</p> <p>貰いすぎは、お歳暮のお返しなどであり、断るのも難しい。</p>
委員	<p>いしかわフードバンク・ネットでも、環境フェアなどのイベントでフードドライブの受付をする際には、そのようなアンケートをとっているため、食品ロスとして多く出される食品や発生原因については概ね把握している。</p>
委員	<p>フードドライブやフードバンクに食品を寄付される方はかなり意識の高い方々だと思う。</p> <p>今のお話だと、買い過ぎや、頂いたものが不要になって食品ロスが発生するということだが、自身は頂き物が好みでない場合、まずフリマアプリやネットオークションを利用する。そのように考えると、フードドライブへの寄付する方の層は絞られる。その層を把握できれば、広報しやすくなり、アプローチしやすくなる。</p> <p>市民全体に向けて周知するのではなく、対象を限定してアプローチを強化し、周りに広げていただくと良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>一般市民がフードドライブをしたいと思っても、食品の重量を測って仕分けをするのはとても大変であるので、どこかに届けたいと思う。しかし、醤油1本やそうめん一束など少ない量だと、届けて良いものかと疑問に思う。</p> <p>現在私は、食品を集め、それを近隣の老人施設などに届けている。それでも余ったものは市婦連など、計量、仕分けをしてもらえる窓口へ届けている。ただ、届けた後に実際どのように使われているかがフィードバックされていないと感じる。どのようなところでどのように使われているかが分かれば、出す側の気持ちも変わってくるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>今まで、食品を寄付したいが、どこに持っていけば良いか分からない方も多かったため、地域団体が主体となって取り組む地域フードドライブの窓口開設を始めた。しかしまだあまり認知されていないため、幅広く周知したいと考えている。</p> <p>また、集められた食品がどのように活用されているかについては、しっ</p>

	<p>かり我々が発信することで、こんな良いことになっているんだということを分かっただき、ご協力いただける方も増えると思うため、発信の仕方を検討していきたいと思っている。</p> <p>それぞれ、どのような形で啓発するか、そのターゲットをどうするかなど検討しながら効果的な方法で周知したい。</p>
委員	<p>啓発講座は、対象を団体のみとするのではなく、個人でも参加できるような場にとすると良いかもしれない。今のお話のように、個人で食品を集め、行き先のないものだけを窓口へ持って行かれるケースもあるようだ。</p>
委員	<p>頂いたものが、捨てられずに全てどこかで活用されていることが理想である。それをくださった方にもきちんと報告ができる。</p>
委員	<p>私たちスーパーマーケットの立場としては、今までコロナ禍でなかなかバラ売り等できなかつたが、今後そのようなできるだけロスが出ないような売り方を増やしていきたいと思っている。</p> <p>また、今後の計画で、子ども食堂とタイアップし、必要なものをお客様に購入いただき寄付するような形で何かできないかと協議中である。来年の1月頃から始めたいと考えている。当店で成功すれば、石川県スーパーマーケット協議会全体で取組みたいと考えているところである。</p>
委員	<p>そのような取組みには大賛成である。</p> <p>老人施設などに食品をお届けする際に、今何が必要かと聞き取りをしたところ、お米が欲しいとのことであつたので、私たちのグループに呼びかけ、お米を集めた。このように提供先の要望を聞き取って集める方法はとても良いと思う。</p>
委員	<p>食品でクラウドファンディングをするイメージか。</p>
委員	<p>フードバンク募金のような形で、スーパーなどに募金箱を設置するのも良いかもしれない。</p>
委員	<p>それを子ども食堂などでこのように使われたという発信も併せてしていただければ良いと思う。食べきり推進店のスーパーマーケットバージョンがあれば良い。</p> <p>飲食店へのアプローチも大事だと思うが、飲食店の皆さんはとても忙しい。その中で、「いいね・食べきり推進店」のチラシに掲載されている二次元コードを読み取ってみたが、分かりにくく、申請手順が複雑に感じた。飲食店は皆さんが思っているより相当忙しいので、このチラシを見て、申請に至るまで結構ハードルが高いと思う。動画で分かりやすく説明するなど、親切な説明と、簡単に登録できるような工夫が必要である。</p> <p>また、ネーミングの「いいね」には皆若干飽きてきていると感じる。何か「いいね」と思わされている、という風に受け取る方もいらっしやると</p>

		<p>思う。</p> <p>また、チラシのデザインにインパクトがなく、すごく残念に思う。ぐっと引き込まれるようなキーワードを入れるなど、読ませる努力が必要だと感じる。例えば、テクニカルな部分かもしれないが、読ませたい文字を取って小さく記載することで、逆に興味を持たせて読ませるという手法もあるため、デザイナーさんに相談し、そのような技術を取り入れて工夫されると良いと思う。</p>
委 員	員	<p>お店側からすると、推進店に登録することで、いかにお店の露出が増えるか、集客に繋がりそうかということを考えてうえで、申請するかを判断する。お店にとってのメリットがもう少し大きく掲載されていれば良いと思う。</p>
会 長	長	<p>何かの機会に、市民に向け、外食の際にこの推進店を選ぶかというアンケートを取ってはどうか。推進店と推進店ではない店舗があったときに、推進店の方を選ぶというデータがあると良い。店舗側からすると、やはり選んでもらわないと意味がない。</p>
委 員	員	<p>先日の全国大会に参加した学生は、推進店を知って、今度からこのような店に入ってみようかと話しており、意識が変化している様子が見られた。</p>
委 員	員	<p>若い方は感度が高いと感じる。</p> <p>先日小学生の子どもが、学校で加賀野菜について学び、れんこんを持ち帰ってきて大変喜んでいた。その後れんこん料理を食べると、改めて美味しいと感じ、残すのはもったいないという意識が生まれる。家族で飲食店に行き、子どもの方から親に対して「残したらだめだから持って帰らない」と言うような雰囲気にしていけば、推進店の方のやりがいにも繋がるかもしれない。若い世代の方が SDGs 教育を受けているので、すんなりと理解される。子ども向けの教育にも力を入れ取り組んでいることを PR できれば良い。</p>
委 員	員	<p>子どもへの教育の影響はとても大きく、町にごみが落ちているのを見ると、「ウミガメが食べるからだめだよ」とよく言われる。その割には野菜を残すことが多いので、食品ロス削減をテーマとした子ども向けの講座などがあれば良いと思う。</p>
委 員	員	<p>これから小学生のスポーツ系の習い事の合宿が増える時期であるが、よく利用する施設では、食品ロス削減推進のため、食事を出す量を計算しており、夕食の残りを朝食にも出せるよう工夫をしている。市内にもそのような施設はいくつかあるが、このような施設も推進店の対象としてはどうか。</p>
委 員	員	<p>食べきり推進店の事業に新たに5つ目の取り組みとして持ち帰り希望</p>

	<p>を入れるかどうかを今後協議されると思うが、やはり一般の飲食店という と、特定給食施設ではないため、あまり厳しくない。特定給食施設とは、 一食 100 食以上供給する施設で、作ってから 2 時間以内に食べないといけ ないなどの決まりがある。そのため、病院や保育所、小学校での持ち帰り は困難である。そのようなことも調査されたうえで検討されるべきであ る。</p> <p>一般の飲食店では、やはり火の通っているもので、生ものは避けた方が 良いし、火を通したものでも、持ち帰って食べる際に再加熱するなど、食 品事故の対策も必要である。</p>
会 長	<p>持ち帰りモデル事業で作成したような注意事項のチラシは、持ち帰りの 際に添付し、それ以外にも分かりやすいツールを作ろうというのが今の計 画である。これは来年度事業であるが、これから忘年会シーズンであるた め、今から啓発をしていけば良いと思う。</p>
委 員	<p>このような事業はお店側も消費者側も食品ロスを無くすため、注文・提 供の仕方が重要であるということだが、持ち帰りというのは、それでも駄 目だった場合の補完的な対処であると思う。</p> <p>また、先ほどから意見が出ていたが、食べきり推進店という名称から、 なかなかそのイメージが湧かず、お客様からすると何を言っているか分 からないと感じる。</p> <p>例えば、食品ロスゼロを目指すお店だとか、環境にやさしいお店で食品 ロスを無くすことに力を入れている店だという説明があれば、今、消費者 の意識が高いため、分かりやすい。「いいね・食べきり推進店」だと主語 が分からないし、消費者にどのようなメリットがあるか伝わらない。その ため、これは少し立ち止まって、名称を皆で考え直すべきではないか。</p> <p>また、このチラシについて、環境だから緑を使ったのだと思うが、基本 的に飲食関係はこのような寒色系の色を使うことは望ましくない。暖色系 が食欲の湧く色と言われるため、飲食店の方にも注目されると思うが、こ のような寒色では、少しネガティブな印象を受ける。</p>
会 長	<p>ステッカーの色はベージュをイメージしているのか。</p>
事 務 局	<p>金色のイメージである。実際のステッカーはベージュに近い。</p>
委 員	<p>フードドライブも、この食べきり推進店もそうだが、それぞれにメリッ トが全然見えない。食べきり推進店は、飲食店としてのメリットがあまり ない上に、消費者にも伝わっておらず、認知度があまり高くない状況であ る。</p> <p>行政の方も、何店舗まで増やすという目標を持っている訳ではないよう で、全ての関係者が何となく、もったいないからやろうというだけでは、 そんなに進まないのではないか。主軸になるものがよくわからないので、 登録した店舗には、補助金が出るなど、それぞれの関係者がやろうという、</p>

<p>会 長</p>	<p>インセンティブが働くような仕組みを考えていくべきである。</p> <p>今回5番目の取り組み項目を追加し、パンフレットも刷新するということであるので、本日皆様からいただいたご意見も参考にして進めていただきたい。メリットはやはり金沢市が認めた企業であるということで、集客を図るということだと思うが、そのメリットが分かりにくいようで、いいね・食べきり推進店が食べきりを推進する店だということが、伝わっていないところもあるようである。いかに伝えるか、せつかくの機会であるので、パンフレット、ステッカーやグッズの内容も含めてご検討いただければと思う。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>色々のご意見をいただき感謝申し上げます。</p> <p>最初に報告をした食品ロス削減全国大会の中でも、気づきが大切だという話があった。今のご意見を聞き、我々はチラシや配信等これまでの発信において、何か一方的にこうして欲しいという押し付けをしてきた傾向があると感じた。やはり皆さんに気づいていただき、メリットや目的を分かっていたらいいような発信の仕方を今後しっかり考え、推進店を広く利用していただきたいと考えている。</p> <p>店舗数の目標については、我々としては何件という訳ではなく、できるだけ多くの飲食店の方にこの趣旨に賛同いただき、それを利用するお客様に、食品ロスの削減が大切であるということ、食べ残しをなくしていきたい、そのような意識の輪が広がる取り組みをしていきたいと思う。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>会 長</p>	<p>本日の会議はこれにて終了とする。令和6年度食品ロス削減推進事業計画（案）について、大体概ね了承するという事によろしいか。</p>
<p>全 員</p>	<p>了承。</p>
<p>会 長</p>	<p>詳細については今後ご検討いただくということで、よろしくお願ひする。</p>
<p>事 務 局</p>	<p><b>【3. 閉会】</b></p> <p>長時間にわたり熱心にご協議いただき感謝申し上げます。</p> <p>以上をもって、令和5年度第2回金沢市食品ロス削減推進協議会を閉会する。</p>